

八代基次議員

平成21年度決算について

問 (1) 決算に対する町長の見解は。

(2) 県に提出した公債費負担適正化計画の平成19年度からの実績は。
(3) 実質公債費比率3年平均で18%を割り、許可団体からの脱却は。
(4) 財政を判断する実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、経常収支比率の4比率の状況は。
(5) 主要3町税（住民税・固定資産税・国民健康保険税）の21年度の納付状況は。

平岡町長 (1) 大型商業施設の誘致、

高利率の町債の繰上償還、職員数削減等により、町財政に大きな効果を得た。
(2) 平成21年度の計画は21・9%、実績は18・9%
(3) 交付税が現在水準とみて、23年度は15・9%と見込み、許可団体から脱却予定。
(4) 一般会計は4億5,000万円の黒字。連結会計は国保会計が赤字ですが、全連結会計では黒字です。将来負担比率は繰上償還でさらに健全化。
(5) 景気動向により住民税、国保税は年度により増減しますが、収納率は

は町民の納税意識の改善と職員の努力で着実に向上しています。

水道料金の値下げの意思は

問 県営水道の購入価格が1トン5円引き下げられた。香芝市、高田市でも同額、または、それ以上引き下げられた。水道企業会計は年次決算は黒字であり、利益の蓄積も多額、介護保険料、国民健康保険税も赤字のため引き上げられた。住民に負担を押しつけるだけではだめである。県からの値下げは町の経営努力により発生したものではない。水道料金はぜひ値下げを。

平岡町長 今回の県水の値下げにより実績水量から計算し、年間1,400万円の経費が縮減になります。水道施設の更新の時期が追っていることから、今後の投資を考えています。なお、今後の経営の指針とすべき水道ビジョンを策定しており、平成25年の県営水道の2部料金制予定を見極めて判断すべきと考えます。今後、有識者会議を催し、施設整備、料金、工事等幅広く議論をお願いし、「広陵の水道」を大きく前進させたいと思います。

青木義勝議員

緑化ならフェアに伴うPR策は

問 平城遷都1300年祭の関連の事業として開催される「緑化ならフェア」を我が町「広陵」を全国に発信して、PRのできる絶好のチャンスにとらえて、成功のため町民が一致団結をする起爆剤とすべきと思うが具体策及びアイデアを聞きたい。また、本町恒例のイベント「かぐや姫まつり」を効果的に便乗、そして、ジョイントさせて相乗効果を強く発揮させてより華やかな「かぐや姫まつり」としてはどうか。

平岡町長 10月24日「広陵の日」に全国にPRする催しを企画準備中です。「広陵ブース」を設け58日間、町特産品を販売・展示します。箸尾駅前等で「おもてなし」お茶の提供を行います。町内全域で自治会とボランティア団体の協力で「花いっぱい運動」を展開して、お出迎えムードを盛り上げます。かぐや姫まつりは緑化フェアの会場内にPR看板等で周知を図って行きたい。

はしお元氣村リニューアルの着眼点は

問 風呂を再開させて第2の福祉センターとして、機能を充実させ高齢者の健康増進施設として9月にオープンするが、さわやかホールの福祉センターとの整合性を問いたい。従来の元氣村の機能はどうなるのか。多目的ホールの利用者から予約が困難との声もあるがどうか。機能の増加による仕事量を踏まえ、対利用者にサービス低下が心配するが人員の配置についてはどうか。

平岡町長 高齢者に対し、地区老人クラブを対象に福祉センター機能をもった健康増進施設として考えています。整合性、相乗効果は、二施設で利用頻度を増加してニーズに対応できるように従来の機能もより充実させていきます。多目的ホールについては、町民を最優先して、再度、調査して不都合のないようにする。人員は2名増員して対応していきます。

